

# 緑友 だより

# No. 12

全国印刷緑友会機関誌

東京都墨田区本所 4-29-17 (社) 日本印刷技術協会

## 第11回緑友会総会札幌で開催

札幌パークホテル 5月28日



今年度の定期総会は札幌緑友会のお骨折をわずらわし、札幌パークホテルにおいて5月28日午前10時から行われた。

筒井氏(東京写真製版若葉会)司会のもと札幌緑友会幹事長藤田氏の開会挨拶につづき議長に大津氏(仙台刷親会)を選出、議事に入った。

主な議題は次のとおりである。

- |                  |                 |           |
|------------------|-----------------|-----------|
| 1. 昭和42年度事業報告    | (白石幹事長)         | 承認        |
| 2.     / 決算報告    | (高橋幹事)          | /         |
| 3. 昭和43年度事業計画    | (白石幹事長)         | /         |
| 4.     / 収支予算案   | (高橋幹事)          | /         |
| 5. 第11回大会開催地決定の件 | 神戸印刷若人会受諾       | 9月22日     |
| 6. 第5回セミナー開催     | 愛知県犬山市 名鉄 犬山ホテル | 8月24, 25日 |

## 7. 規約改正の件

従来会の事務局は印刷製版センター内にあったが、印刷技術協会の設立に伴って同協会内に移転した為、規約の一部変更が行われた。

## 8. その他

- ① 秋田印刷懇話会の名称変更(秋田昭和会)が報告された。
- ② 印刷技術協会に協力することについて市村元偉氏の出席を得て説明が行われた。

今回の総会議題をふりかえってみると、特に異論を生じるような問題はなかった。しかしこのことは会の運営が全く微温的であるということではなく、会の在り方を一層高めていく為の方策が考えられていることが認められる。例えば北日本、関東、中部、西日本などの各ブロック会議あるいは研修会を各地の自主性のもとに行うこととし、これに予算的裏づけを与えたことなど、会員が一人でも多く、緑友会行事に参加し、会の意義を理解する為の場を提供するということであり、このことがひいては会組織を拡充することにもつながっていくであろう。

今年度の事業(行事)計画の中で主たるものは夏期のセミナー、定期大会、それに上記のブロック会議を挙げることができよう。

夏期のセミナーは会場設営などに名古屋而立会、岐阜翠陽クラブの労をわずらわし、8月24、25日の両日犬山ホテルで開催される。

講師、テーマは下記の内容である。

- 1) 思想・東西南北 堀田善衛氏(決定)
- 2) 情報革命と印刷産業  
日本印刷技術協会 馬渡 力氏(決定)
- 3) 20年後の日本  
東京工大教授 林 雄二郎氏(決定)
- 4) 座談会 アメリカ印刷展より帰って  
緑友会会員

また大会は会場を神戸におき、9月22日に行うことに決定したが詳細は今後の常任幹事会において討議される。

これら行事のほか、全国にまたがる緑友会組

織をより強くしていく為には会報の充実が必要であろう。何といたっても年に2~3回の顔合せ、しかもそれとでも全員が出席している訳でもないということになると、それを補完する手段として会報の発行は重要な要素を帯びてくる。勿論それには多量のエネルギーと原稿の作成という会員自体の協力が絶対に必要であり、会員の緊密感と協力の醸成が因果相まつ形となり前期の後半に見られたような強力な牽引力が今期も必要になってくるであろう。

緑友会の生みの親であり、今日でも精神的指導者である市村氏が、今後の日本印刷界を考えその創造に力を入れられた印刷技術協会は、維持会員の不足、更にはその主要事業である通信教育制度の利用者不足から重大な危機に陥っている。これを憂えて本総会の議題でもこの点について市村氏から現状の説明を受けたのであるが、協会が明日の印刷界を慮って作りあげられたことは事実であり、これに同感する人は多い。しかし他方で今日の問題をまず考えなければ駄目だと考えている人の多いことも事実であり、それを説得するには具体性をもった利用効果をアピールするなど、努力が必要である。

ともあれ緑友会はその総力をあげて、まづ5月中に1000名の通信教育生を送るべく各地各グループで努力するという申し合せが行われた。

協会入会の決定如何にかかわらず通信教育生の入学だけをまづすすめることになったわけである。もちろん日本印刷技術協会への企業単位の入会のおすすりも推進する。

議事終了後北海道印刷工業組合山藤理事長ならびに深宮専務理事から御祝辞を頂戴し、併せて今年7月の印刷文化展に出席するよう熱心な御勧誘を受けた。

全印刷産業界の総力を結集して  
五月中に通信教育生 1,000名を日本印刷  
技術協会におくろう

全国印刷緑友会



## 未来志向的態度

幹事長 白石豊

昭和43年度総会は、札幌緑友会の皆さまに、準備万端ご苦勞をおかけし、又、北海道印刷工業組合山藤理事長さんをはじめ、多大の御協力を戴いた。

心より御礼申しあげたい。

北海道は、中部ヨーロッパと、同じ緯度に位置し、札幌市はフランスのマルセイユと同一緯度線上にあって、きわめてエキゾチックな都市ですが、情緒ゆたかな一面ここは北海道開拓の拠点であった訳で、北海道開拓 100年にあたり開拓者精神を偲びつつ、緑友会総会を持つのも意義深いことであった。

緑友会は、昭和33年9月発足以来、着々と発展し、10周年目に当たる今日では、全国25グループ 900名の同志的団結を見ている。

10年の歩みは、理想を求めつつ、現実を直視した研鑽の歴史であり、印刷産業を天職として生きる喜び、苦しみを分ち、「印刷産業の社会的地位向上」を相言葉として、「高邁にして謙虚」ならんことを誓い、地道な行動を積み重ねてきた。

今や緑友会のメンバーの、内に秘めた熱情と、エネルギーな行動力は、印刷産業の明日への推進力とみなされている。

さて、昨今の世界経済の激動、ポンド危機、ドル防衛の大津波は、日本にも、はげしい影響を与えようとしている。

まさに世界地図は、今ぬりかえられようとしている。日本の国際収支悪化に伴う、一連の財政金融措置は、かつてない中小企業倒産の激増をみている。

数年来印刷産業界は、人手不足による賃金高騰や、諸経費の増加による利益低下に苦しんで

きた。

その改善策として、合理化推進の努力を重ねたが、賃金と経費を吸収出来ない状態に、追い込まれている。

このような危機感を、決して悲観的と呼ぶべきではなく、われわれは、現実を直視し、対策を共に考えたい。

私たち緑友会は、今日只今の問題について、考えるだけでなく、たとえ理想家集団であるとの批判があっても、これを甘んじて受け、やはり青年を中心とするグループの結合体である以上、未来を予測し、理想像に近づく努力を怠るべきではない。

一危機において、なおかつ理想を忘れず—これはまさに、緑友会本来の姿である。

今年4月、私は福岡で、はじめて来日したソルボンヌ大学教授ジャン・フーラスティエ博士の、「21世紀の文明と人間」という講演を聞いた。フーラスティエ教授は、

「現代世界では、将来を予測し、それに向って行動を起すという、未来志向的態度の必要性が叫ばれている。今後の経済活動は、10年で2倍、30年で8倍、50年で32倍、100年で1,000倍以上も拡大する。今後の新科学、新技術の一端として、ティーチング・マシンや脳の移植、正確な天気予報、蛋白質の合成などが考えられるが、なかでも情報の科学が、最大の進歩をみせるであろう」と語っている。

緑友会会員諸兄、情報革命はすでにはじまった。印刷人たるわれわれは、現実に立脚しつつ未来志向的態度をもって武装するときが来たと思う。

- (1) 8%成長(安定成長)の日本経済と企業条件の変化
  - (2) 資本の自由化と国際化の時代
  - (3) 労働力の不足とその対策
  - (4) 企業成長への経営の条件
2. 懇談会 「ドルツパからかえつて」  
 報告 小堀正三(東京)  
 土屋 弘(神奈川)  
 司会 白石 豊(熊本)
3. 事例研究  
 「経営についての考えと実際」  
 報告者 松尾隆一郎(佐世保)  
 和田 豊(東京)  
 小林 行昌(東京)

#### 4. 第2回常任幹事会 於 熱海 起雲閣

日時 9月4日(月)  
 議題

1. 仙台大会運営について
2. セミナー会計中間報告
3. 小堀前幹事長へ贈る記念品決定

#### 5. 第10回仙台大会

日時 10月21日(土) 午前9.30~19.30  
 会場 電力ホール・仙台グランドホテル  
 討論会「印刷社会の理想と現実」

—とくに技術と教育をめぐって—

- 司会 土井庄一郎(東京)  
 スピーカー 川俣 正一(千葉大学)  
 小堀 正三(東京)  
 市村 元偉(東京)  
 丸谷慶二郎(仙台)

仙台印刷団地概要説明 川俣 正一  
 団地見学

#### 研修会

- 第1分科会 「集団,協業化の問題点」  
 司会 白石 豊  
 パネル 荒瀬 宣男(群馬)  
 市村 元偉(東京)  
 大川 英郎(神奈川)

- 中畑 裕行(神戸)  
 酒本 弘(熊本)  
 今野 智吉(仙台)  
 針生 邦二(仙台)  
 江馬 成夫(仙台)

#### 第2分科会

「企業内の悩みをもちよう」

司会 土井庄一郎

- パネル 高橋 茂(東京)  
 小林 行昌(東京)  
 岩岡 敏志(大阪)  
 小堀 正三(東京)  
 田中 博(名古屋)  
 武 重治(神戸)  
 角丸 時男(神戸)

#### 懇親パーティ

#### 6. 第3回常任幹事会 於 京都 柘屋旅館

日時 43年1月29日(月)  
 議題

1. 第11回定期総会について
2. 第5回夏季セミナーについて
3. 第11回大会について
4. 緑友だより発行について
5. 財政状況について
6. 緑友会の将来について

#### 7. その他

1. 42年度緑友だより発行  
 No.9~11号の3回発行
2. 秋田印刷懇話会より  
 秋田昭和会への交代入会 承認

# 緑友会 昭和42年度事業経過報告

## 1. 定期幹事総会（第10回）

於 福岡国際ホテル

日時 5月14日（日）午前10.00～12.00

議題

1. 昭和41年度事業報告（承認）
2. 昭和41年度決算報告（承認）
3. 役員改選

つぎのとおり、新役員を選出

幹事長	白石 豊	（熊本）
常任幹事	秋田印刷懇話会	成田 茂
／	仙台刷親会	大津 俊雄
／	印刷同友会	小林 行昌
／	名古屋而立会	田中 博
／	神戸印刷若人会	角丸 時男
／	熊本プリンティングクラブ	
		酒本 弘
／	福岡印刷若葉会	大隈 瑞茂
／	大阪青年印刷人クラブ	
		岩岡 敏志
／	武 重治	（神戸）
／	大川 英郎	（神奈川）
／	小堀 正三	（東京）
／	高橋 茂	（東京）
／	三淵 満	（久留米）
会計監査	藤田 俊雄	（札幌）
	中村 昭治	（福岡）

4. 昭和42年度事業計画案（承認）
5. 収支予算案（承認）
6. 第10回定期大会開催地決定の件  
仙台に決定  
期日 10月21日（土）
7. 第4回セミナーの件  
期日 9月2, 3日か3, 4日ごろ  
場所 東海道新幹線沿線で交通至便なところ。

テーマ 未定

8. 新入会員承認の件  
佐世保青年印刷研究会（承認）
9. 規約改正の件 特になし
10. その他  
小堀前幹事長に記念品贈呈の件につき提案あり、幹事長一任。  
研究会  
講演 塚田 益男  
各グループ状況報告

## 2. 第1回常任幹事会 於 日印工会議室

日時 6月17日（土）午後3.00～5.00

議題

1. 第10回仙台大会運営について  
イ. 大会運営形式について  
ロ. 研修会の開催について  
ハ. 講師、テーマについて  
ニ. 経費について
2. 第4回セミナーについて  
期日 9月3日（日）4日（月）  
場所 熱海 起雲閣  
テーマ 講師について意見交換
3. 第2回常任幹事会の日程について  
第4回セミナー終了後現地にて開催
4. その他 小堀前幹事長への記念品贈呈の件
5. 事務局所在地名称変更の件

## 3. 第4回セミナー 於 熱海 起雲閣

日時 9月3日（日）、4日（月）

1. 研修テーマ 「これからの日本経済とこれからの日本」  
講師 ダイアモンド論説主幹

鈴木 建

- (1) 8%成長（安定成長）の日本経済と企業条件の変化
- (2) 資本の自由化と国際化の時代
- (3) 労働力の不足とその対策
- (4) 企業成長への経営の条件

2. 懇談会 「ドルツパからかえつて」

報告 小堀正三（東京）  
土屋 弘（神奈川）  
司会 白石 豊（熊本）

3. 事例研究

「経営についての考えと実際」  
報告者 松尾隆一郎（佐世保）  
和田 豊（東京）  
小林 行昌（東京）

4. 第2回常任幹事会 於 熱海 起雲閣

日時 9月4日（月）

議題

1. 仙台大会運営について
2. セミナー会計中間報告
3. 小堀前幹事長へ贈る記念品決定

5. 第10回仙台大会

日時 10月21日（土）午前9.30～19.30

会場 電力ホール・仙台グランドホテル

討論会「印刷社会の理想と現実」

一とくに技術と教育をめぐって一

司会 土井庄一郎（東京）  
スピーカー 川俣 正一（千葉大学）  
小堀 正三（東京）  
市村 元偉（東京）  
丸谷慶二郎（仙台）

仙台印刷団地概要説明 川俣 正一

団地見学

研修会

第1分科会 「集団、協業化の問題点」

司会 白石 豊  
パネル 荒瀬 宣男（群馬）  
市村 元偉（東京）  
大川 英郎（神奈川）

中畑 裕行（神戸）

酒本 弘（熊本）

今野 智吉（仙台）

針生 邦二（仙台）

江馬 成夫（仙台）

第2分科会

「企業内の悩みをもちよう」

司会 土井庄一郎

パネル 高橋 茂（東京）

小林 行昌（東京）

岩岡 敏志（大阪）

小堀 正三（東京）

田中 博（名古屋）

武 重治（神戸）

角丸 時男（神戸）

懇親パーティ

6. 第3回常任幹事会 於 京都 柘屋旅館

日時 43年1月29日（月）

議題

1. 第11回定期総会について
2. 第5回夏季セミナーについて
3. 第11回大会について
4. 緑友だより発行について
5. 財政状況について
6. 緑友会の将来について

7. その他

1. 42年度緑友だより発行  
No.9～11号の3回発行
2. 秋田印刷懇話会より  
秋田昭和会への交代入会 承認

昭和42年度決算報告書

(自昭和42.4.1)  
(至昭和43.3.31)

収入の部			支出の部		
科 目	金 額		科 目	金 額	
入 会 金	5,000		事 業 費	312,490	
会 費	590,000		会 議 費	17,354	
寄 付 金	33,303		印 刷 費	32,280	
雑 収 入	118,398		通 信 費	25,865	
未 収 会 費	40,000		人 件 費	102,000	
前 期 繰 越	61,713		発 送 費	14,530	
			旅 費 交 通 費	48,365	
			慶 弔 費	5,000	
			租 税 公 課	1,000	
			雑 費	6,430	
			未 収 会 費	42,500	
			後 期 繰 越	240,600	
合 計	848,414		合 計	848,414	

昭和43年度収支予算案

(自昭和43.4.1)  
(至昭和44.3.31)

収入の部			支出の部		
科 目	金 額		科 目	金 額	
前 期 繰 越	240,600		事 業 費	540,000	
会 費	585,000		会 議 費	30,000	
寄 付 金	50,000		通 信 費	36,000	
雑 収 入	5,000		印 刷 費	50,000	
			人 件 費	102,000	
			発 送 費	30,000	
			文 具 費	2,000	
			旅 費 交 通 費	40,000	
			慶 弔 費	5,000	
			租 税 公 課	1,000	
			雑 費	10,000	
			予 備 費	34,600	
合 計	880,600		合 計	880,600	

# グループの動向

## 名古屋而立会

### 現況と問題点

例会日時 原則として毎月18日 午後6時  
総会 毎年4月  
現在会員数 45名（印刷業者31名・関連業者14名）  
会費 月額¥2,000—（出欠を問わず）  
入会金 ¥5,000—  
会長 宇佐見礼次郎（任期1年）  
副会長及幹事 長谷川昌史・大橋 正史  
今枝 保彦・近田 瑞夫  
伊藤 民康・池田 達彦  
小島 国彦・成田 栄次  
津坂 久義・橋本 清剛  
（任期2年）

現在会員の年齢差（最高48才～最低27才）が  
拡くなり高年齢者は工業組合の理事、其の他組  
合役員に徐々に就任して居ります。従って次第  
に低年齢会員の役員により会の運営が持たれつ  
ゝあります。以上の様に会員の傾向としては次  
第に若返りつゝありますが、例会出席率はや  
低下しており、例会日の討論会に於ける発言  
も、一部消極的であり、如何にして全員が積極  
的に意見を發表し合うことが出来るか、例会運  
営のテクニックその他について検討中でありま  
す。

### 昭和42年度事業報告

4月 総会 於 有馬温泉 出席33名  
○ 41年度の事業報告、会計報告  
○ 役員改選 会長に佐藤（忠）氏、副会長  
に宇佐見、権田両氏が、又新幹事に橋本、  
成田、池田、今枝の4氏が選任され就任  
◎ 5月14日 緑友会福岡総会 出席者 田中  
佐藤（忠）、宇佐見の3氏  
5月 例会 於 川由 出席40名

- 42年度役員紹介
- 新入会員伊藤貞、蟹江、後藤、沢田、渡  
辺の5氏紹介
- 42年度事業運営計画・予算案の発表
- 「緑友会名古屋大会音頭」の作詩、作曲  
者大河内（秀）、棚橋、両氏を表彰
- 緑友会福岡総会の報告
- 6月 例会 於 名古屋市教育館 出席36名  
○ 討論会 各社の求人対策現状について
- 7月 例会 於 印刷会館 出席41名  
○ 8月の岐阜翠陽クラブとの合同例会につ  
いて説明
- 緑友会仙台大会について
- 文方社鶴見社長「ドルツパ展」について  
講演
- 8月 岐阜翠陽クラブとの合同例会  
於 東天閣 出席38名  
○ 合同例会に先立ち、岐阜翠陽クラブ21名  
（株）文方社見学
- 岐阜翠陽クラブとの合同例会  
テーマ「私は企業運営をこのようにしてい  
る」而立会より長屋、大河内（信）両氏、  
翠陽クラブより舟橋、大鹿の両氏がそれぞ  
れ講演
- ◎ 9月3・4日 緑友夏期セミナー  
於 熱海 起雲閣 参加者 佐藤（忠）  
広瀬、池田、小林（佐）、今枝の5氏
- 9月 例会 於 名古屋観光会館 出席37名  
○ 熱海夏期セミナー報告会 熱海夏期セ  
ミナー参加者 佐藤（忠）、広瀬、池田、小  
林（佐）、今枝の5氏が事例研究、講演に  
ついて報告
- 10月 講演会 於 主税町クラブ 出席者39名  
○ 愛知学院大学教授 林董一氏「名古屋商  
人史」について講演
- ◎ 10月21日 緑友会仙台大会 出席者 田中  
佐藤（忠）、宇佐見、広瀬、大河内（正）、  
大橋、伊藤（英）、池田、権田の9氏
- 11月 工場見学会 泊 新和歌の浦 出席27名  
○ 11月19日 東急鍼バスにて出発宇治平等  
院観覧後宿泊地新和歌の浦に直行 東邦荘



にて宿泊

- 緑友会仙台大会の報告
- 20日 天理大学附属参考館, 天理時報社  
を見学

12月 忘年会 於 寸楽園 出席39名

- 月当番の抽選, 決定

1月 新年宴会 於 石波志

2月 例会 於 東天閣

- 「而立会をふりかえって」初代会長小栗氏及び小池, 大河内(信), 長屋, 八木, 田中の歴代会長より, 而立会発会よりの経過並びに事業報告

3月 例会 於 印刷会館 出席36名

- 郵便番号について16%映画
- 43年度新役員選挙 新会長に宇佐見氏, 副会長に長谷川, 大橋の両氏が推選され, 新幹事に津坂, 伊藤(民), 小島, 近田の4氏が選出されました。

#### 昭和43年度名古屋而立会計画

議 題

42年度事業報告・決算報告

43年度役員紹介・事業計画

予算案発表

新入会員紹介・札幌緑友会報告

会員で話合おう

「印刷料金について」

3グループに分けて討論

講演・講習会「交通事故問題」

緑友会夏季セミナー 24日 9.00~21.00

25日 9.00~11.00

神戸大会

会員で話合おう「神戸大会反省会」

会員で話合おう「労務管理について」

忘年会 講師中日新聞論説委員

講演「時事問題」

新年宴会

会員で話合おう「而立会運営について」

役員改選

#### ぎふ印刷翠陽クラブ

##### 現 状 と 問 題 点

研修について

我々クラブ員の資格は印刷業及関連業の二世となっておりまして, 発足以来9年目を迎えております。発足当初2, 3年は親睦を主体として例会を開いておりましたが, ここ数年来きびしい社会情勢に対処すべく, 自己研修を積重ねて参りました。然し乍らクラブ員相互の間で, 考え方の相違, 規模格差等によりまして研修もこれ以上高度化, 又は専門化することが出来ず, 今年度は一般教養の研修に或程度移行を余儀なくされております。

今後の研修としましては, 同規模で同じような考え方を持った人たちのグループ単位に予算外の受益者負担の形で更に高度な, 又は専門的な研修を重ねてゆくことが必要ではないかと痛感致しております。

組織, 運営について

役員の選出につきましては昨年度, 会長経験者方より, みんなで運営, 勉強をしようということで会長未経験者より役員の選出をして会を運営することになり, 目下若手役員の手により運営を行っておりますが, 各役員とも会社内ではトップでなく現役の活動をしている者ばかりで, 会社とクラブの作業両立に苦心している現況です。従って, 緑友会との関係, 緑友会グループとの交流等につきましても大きな活動が致し兼ねている状況で, 今後この面の問題点を大いに考慮に入れ, 更に飛躍致したい所存であります。

工業組合との関係について

前記の通り自己研修と会員相互の親睦との二本の柱で運営をして来ましたが, あまり積極的ではありませんでしたが, 近時クラブ員からも組合幹部として数名が活躍しておりますので, 今後は密接な関係を持って, 当クラブのアピールをしてゆきたいと思っております。

### 昭和42年度事業報告

- 1月例会 新年互礼会  
2月例会 研 修 会  
講 師 経営者協会 増田先生  
テーマ あなたの適性検査, 自分の  
適性を知り今後の経営の参  
考にする。
- 3月例会 研 修 会  
講 師 中小企業診断員  
相沢正人氏  
テーマ 計数管理について
- 4月例会 研 修 会  
講 師 中小企業診断員  
相沢正人氏  
テーマ 損益分岐点について
- 5月例会 研 修 会 (親睦主体)  
ボーリング大会  
※5月14日 第10回全国印刷緑友会総  
会出席 4名
- 6月例会 レジャー (1泊旅行)  
片山津温泉
- 7月例会 研 修 会  
講 師 公認会計士 渡辺正一氏  
テーマ 改正された税法について
- 8月例会 研 修 会  
名古屋而立会と交流 岐阜クラブ員  
名古屋へ行く  
工場見学後, 而立会グループと同席  
で  
テーマ 私はこの様に企業を経営し  
ている  
各クラブより2名選出  
事例発表
- 9月例会 研 修 会  
講 師 高木先生  
テーマ カラー写真について  
※9月2日 第四回セミナー 出席 3名
- 10月例会 小レジャー 松茸狩  
※10月21日 第10回全国印刷緑友会仙台大会  
出席 7名

(10月当クラブ主催 簿記講座開催 2日間行  
う)

- 11月例会 研 修 会  
講 師 宮崎哲也氏  
テーマ 印刷業界の概況と今後どう  
あるべきか
- 12月例会 役員改選  
※毎月の例会は第2水曜日

### 東京写真製版若葉会

創立15周年を迎える東京写真製版若葉会  
は, 去る3月15日次のとおり新役員を決定し  
た。

幹事長	日出島清司	日出島写真製版所
副	青柳 恒夫	ミカド写真製版所
／	大竹 宏宜	大竹美術
書 記	茂木 益男	茂木写真製版所
会 計	春山 高男	堀内製版所
監 事	柏木 広保	不朽堂製版社
幹 事	降旗 顕英	降旗美術印刷KK
／	筒井 尚亮	高木写真製版所
／	酒井 幸男	イチセ原色版(株)
／	斉藤 健一	東光写真製版(株)
／	広橋 裕介	広橋精版印刷(株)
	倉並喜代晴	(株)倉並製作所
	山岸 博人	(株)山岸商店
		以上

## おめでとう！神戸印刷若人会

### 兵庫県最高の「善意の人」受賞

神戸新聞（5月24日）によれば、神戸印刷若人会は、兵庫県最高の「善意の人」表彰をうけることになった。印刷業界のためにも慶賀すべきことである。記事抜萃次のとおり。

兵庫県は23日「善意の日」の6月1日表彰する「善意の人」と優良善意銀行を発表した。善意の人は県下各地から推薦された70人のうちから選ばれた2団体と個人3人。優良善意銀行は県下116の善意銀行から選ばれた3銀行。いずれも6月1日午後2時半から神戸国際会館で開かれる「善意のつどい」の席上、金井知事から表彰状が贈られ

る。

表彰される「善意の人」は次のとおり。

#### <善意の人>

神戸市生田区下山手通5，県印刷会館内，神戸印刷若人会（代表武重治氏）31年発足以来，町と公園を美しくする運動を提唱，ゴミ一掃隊を組織した。また兵庫区会下山公園に桜の木500を植樹したり，県教委の呼びかけに応じてへき地に本を贈る運動に参加する一方，毎年「いんさつ展」を開き，文化向上に活動している。

## N H K で 全 国 放 送

### 神戸、武さん金井知事と対談

### 松竹映画でも若人会活動上映

神戸印刷若人会はその社会奉仕が高く評価され6月1日、兵庫県「善意の人」として団体表彰を受けることになったが同時に若人会の社会奉仕活動が、ニュース映画として、兵庫県下140の松竹系映画館で上映されることになった。神戸印刷若人会は、「街と公園を美しく」という標語の下に昭和31年より神戸市の清掃奉仕を行い、また、会下山公園に桜の樹500本を寄贈植樹をつづけた。また「いんさつ展」開催5年。

この奉仕活動の発想は、「紙屑はほとんど印刷物……印刷人が清掃奉仕するのは、あたりまえ

や」ということで、面白い着眼だが、それを13年もつづけるのは、誰にでもできることではない。しかも、ふるさとの街や公園を美しくする目的を達したばかりではなく、結果として、印刷産業PRの効果を果した。神戸では社会の印刷に対する認識は大いに高まっている。

「善意の人」表彰に続いて、6月7日、武重治さんと兵庫県金井知事の対談がNHKから全国放送される。

全国印刷緑友会としても、ほんとうに、うれしいニュースだ。全国から拍手しようではないか。

## 全国印刷緑友会会員名簿

昭 43. 4. 29 現在

No.	会 名	住 所	電 話	代 表 者	人 数
1	札幌緑友会	札幌市北三条西2丁目 (株) 藤田印刷所	(22) 4111	藤田 俊雄	18
2	秋田昭和会	秋田市大町3-5-30 秋田県印刷工業組合内	(2) 2961	相沢 隆一	22
3	山形印刷研修会	山形市本町2丁目1-34 菅原印刷所	(2) 6291	菅原 金一	29
4	仙台刷親会	仙台市清水小路6 丹野印刷(株)	(21) 2471	大津 俊雄	56
5	茨城緑友会	水戸市梅香町2丁目1-61 蓮田印刷所	(21) 2205	蓮田 久一	27
6	群馬緑友会	前橋市曲輪町81 原田印刷所	(2) 4367	石川 幹二	18
7	印刷同友会	東京都千代田区神田多町2-7	(251) 1667	白橋 達夫	112
8	文京緑友会	東京都文京区大塚4-39-13 文京印刷会館	(946) 4454	徳永 進	66
9	東京活字鳳友会	東京都千代田区三崎町3-4-9 宮崎ビル	(265) 3781	斎藤 実	10
10	東京写真製版若葉会	東京都千代田区三崎町2-42 東京写真組合内	(261) 2558	日出島清司	68
11	神奈川正和会	横浜市南区永田町1,178 大川印刷所	(731) 3664	佐々木久雄	25
12	新潟印刷新世会	新潟市東中通り1番町195 新潟県印刷工業組合	(66) 6695	本間 吉平	27
13	長野青年印刷人 緑友会	長野市七瀬中町212 長野県印刷工業組合	(6) 3279	杉田 司	38
14	名古屋而立会	名古屋市東区高岳町2-2 印刷会館	(962) 7061	宇佐見礼次郎	48
15	ぎふ翠陽クラブ	岐阜市岩崎74-8 (株)大鹿印刷所	(65) 5648	大鹿 洪二	46
16	神戸印刷若人会	神戸市生田区下山手通り5-21 兵庫県印刷工業組合	(34) 3857	岸 時弘	27
17	広島緑友会	広島市中町4-14 朝日精版印刷(株)	(41) 3591	尾山 整造	10
18	福岡印刷若葉会	福岡市舞鶴1-2-25 九州印刷文化出版社	(65) 2675	中村 昭治	47
19	北九州Y Pクラブ	北九州市小倉区下津9丁目 日進印刷	(56) 4667	進 早人	15
20	久留米プリンティング クラブ	久留米市両替町20 三淵祥文堂	(3) 6182	川原 弘	15
21	熊本プリンティング クラブ	熊本市東外坪井町47 博文舎	(52) 6812	角 明彦	15
22	大阪青年印刷人 クラブ	大阪市住吉区中加賀屋町4-22 岩岡印刷(株)	(671) 6331	岩岡 敏志	59
23	大阪二世会	大阪市東成区大今里町2-754 吉谷商会	(981) 6655	中島 敏春	15
24	下関青年印刷人 緑友会	下関市長府町土居の内 昌栄堂印刷社	(45) 0105	中村 勇	13
25	佐世保青年印刷 研究会	佐世保市瀬戸越町260 (株)隆文社	(3) 6306	井上 実	10

### 編集後記

札幌緑友会の同志よ、ありがとう。全国の幹事諸兄ごくろうさまでした。

札幌緑友会が終ると直ちに新年度の方針に沿い、全国各地で、日本印刷技術協会入会、通信教育生入学の運動が展開され、申し込みは毎日うなぎのほりに増している。5月一杯で、どこまでの数字になるか本号発行までには、集計が出ていないので発表できないのは残念。しかしこれは緑友会の底力を示すものとなるだ

ろう。期待したい。

本号発行前夜、神戸印刷若人会の受賞のニュースが入った。スペースがないため最終の1頁に要約するほかなかったが、写真がほしいところ。ともあれ神戸若人会の奮斗努力は「印刷産業の社会的地位向上」をめざす緑友会の正しい姿勢を、見事に示したもので同志として実にうれしい。

編集責任 幹事長 白石 豊  
発行 全国印刷緑友会事務局